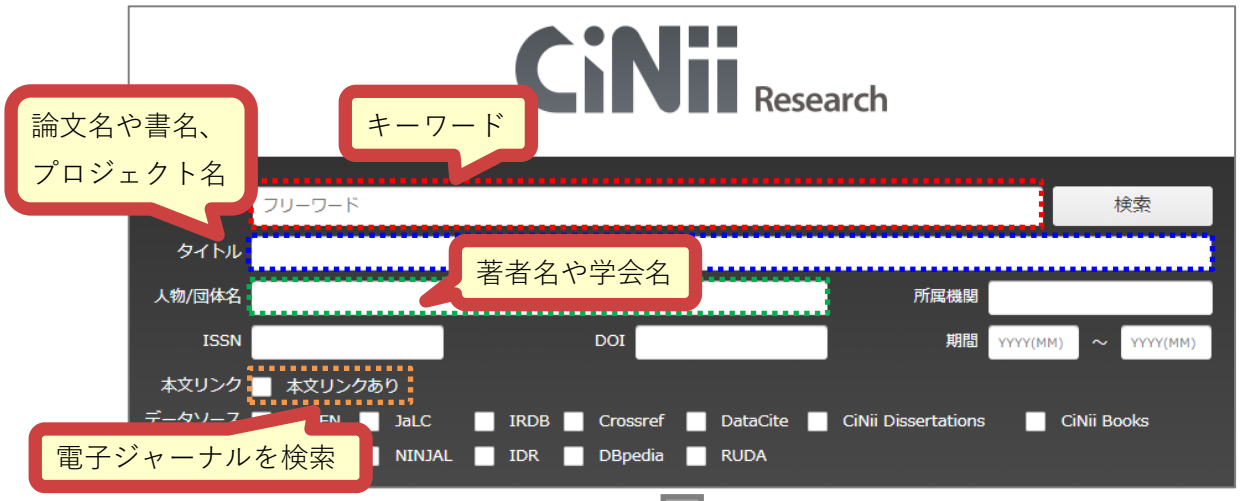
国内文献総合検索（CiNii Research）

1）CiNii Research（サイニィ リサーチ）とは？

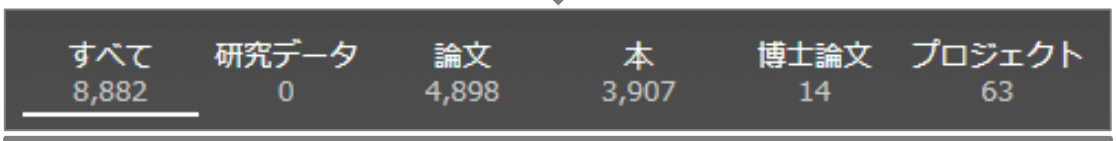
「**CiNii Research**」は、外部連携機関や機関リポジトリ等の研究データ、KAKEN の研究プロジェクト情報などを加え合わせて横断検索できるシステムです。
従来の「CiNii Books/Articles/」では、国内で出版された論文や、図書・雑誌などの学術情報を検索するためのシステムでした。
近年、オープンサイエンスの考え方が浸透し、文献だけではなく研究データやプロジェクト情報など、研究活動に関わる多くの情報が公開されています。

2）検索の仕方と画面の見かた

①検索の仕方



②項目の絞り込み



項目を選択すると、それぞれのデータに絞り込むことができます。

③検索結果を見る

検索結果は一覧表示されます。また、検索でヒットしたワードは、**ハイライト表示**されます。

検索結果一覧に表示されるアイコンの種類と意味について

KAKEN（科学研究費助成事業データベース）のデータ

文部科学省や日本学術振興会が交付する科学研究費助成事業により行われた研究の当初採択時のデータ（採択課題）、研究成果の概要（研究実施状況報告書、研究実績報告書、研究成果報告書概要）、研究成果報告書及び自己評価報告書の情報です。

CiNii Books（全国の大学図書館等が所蔵する本等のデータベース）のデータ

国立情報学研究所が運用する目録所在情報サービスに蓄積されてきた情報です。

CiNii Articles（学協会刊行物・大学研究紀要などのデータベース）のデータ

学協会刊行物・大学研究紀要・国立国会図書館の雑誌記事索引データベースなどに搭載された、学術論文の情報です。

CiNii Dissertations（国内の大学および独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が授与した博士論文データベース）のデータ

国内の大学等学術機関のリポジトリにて公開されている博士論文や国立国会図書館が所蔵する博士論文の情報です。

3）電子ジャーナルへのアクセス

下記のようなアイコンとリンクがついている文献は、電子ジャーナルとして公開されています。

アイコン

- 論文・記事
- 博士論文
- 研究成果報告書及び自己評価報告書

リンク（一例）

機関リポジトリ

DOI

Web Site

これらのリンクのある文献は、電子ジャーナルの全文が公開されている場合があります。

電子ジャーナルへの「リンク」があるのに、電子ジャーナルが見られない場合があるのはなぜ？

電子ジャーナルへのリンクは「（無料・有料を問わず）コンテンツが公開されている」ことを表すリンクのため、コンテンツによっては「**本文やデータ本体が閲覧できるとは限りません**」。そのため電子ジャーナルとして利用できるかどうかは、リンクを辿り、本文（本体・データ）が閲覧可能かどうかを確認する必要があります。

下記の「リンク」についての説明

電子ジャーナルリンクで次のようなリンクがついている場合の多くは、「電子ジャーナル」へのリンクではないので、注意が必要です。

PubMed　CiNii　[redacted]学会　NDLデジタルコレクション

4）電子ジャーナルが公開されていない文献を利用したい場合は？

①CiNii に表示された、**論文（文献）情報**を控える。

②図書館のホームページから「**雑誌名**」**で蔵書検索**をする。

③探している雑誌があった場合には「**所蔵巻号**」**を確認**する。

図書館に所蔵や所蔵巻号がない場合

④図書館に所蔵があれば、**図書館の資料を利用**する。

図書館にない場合

他館から文献複写物を取寄せることができます。詳しくは「**図書館活用ガイド：助太刀くん**」をご覧ください。

北星学園大学図書館ホームページ
＞「学習・利用支援」タブ
＞図書館活用ガイド：助太刀くん
＞SV001-資料の取寄せ

5）「まとめて文献検索 HOLLY」と「CiNii Research」の違いは何？

「HOLLY」と「CiNii Research」は似ていますが、次のような違いがあります。

凡例：○使い勝手の良い点　△使い勝手の悪い点

本学用にカスタマイズされた文献統合検索システム。ディスカバリー検索ともいう。

「国内外」合わせて 85,000 以上のデータベースに登録された、様々な文献（論文・記事や雑誌、図書や電子書籍など）を網羅的に検索することができる。

まとめて文献検索 HOLLY

○図書館で所蔵していない資料も検索できる。

○大学で契約中の有料データベースの検索や利用ができる。

※国内文献：医中誌や東洋経済 DCL、日経 BP など

※海外文献：Oxford や JSTOR、Cambridge など

○電子ジャーナルリンクへ容易にアクセスできる。

○オープンアクセスの電子ジャーナルかどうかが判断しやすい。

○図書館の蔵書検索システム OPAC と連動しているので、所蔵検索や文献複写依頼が簡単に行える。

○アカウントを作成し、個人ページを作成することで文献リストを容易に作ることができる。

△動作が重く、検索結果が表示されるまでに時間がかかる。

△数多くのデータが検索されるので、一定程度の検索技術が必要。

※絞り込み検索や AND, OR, NOT 検索

△学外から制限なく利用する際には、マイライブラリ内のリンクからアクセスするか、VPN を導入する必要がある。

国立情報学研究所が提供する「国内」の学術文献情報（論文、図書・雑誌や博士論文など）をまとめて検索することができるシステム。

CiNii Research

○図書館で所蔵していない資料も検索できる。

○電子ジャーナルリンクへ容易にアクセスできる。

○動作が軽く、検索結果が表示されるまでが速い。

○学内外問わず利用することが可能。

△図書館に所蔵があるかどうかは、図書館ホームページから蔵書検索をする必要がある。

△文献リストを作成するには手動で行う必要がある。

△海外の文献は検索することができない。

△雑誌記事（一部を除く）の検索はできない。

△電子ジャーナルへのリンクがわかりにくいことがある。

このように、「まとめて文献検索 HOLLY」と「CiNii Research」は似て非なる検索システムなので、検索したい内容や状況によって、システムを使い分ける必要があります。